

一般社団法人 日本自動車リサイクル機構

第5回 景況調査報告 2021年7~9月期 (報告書版)

前期比の業況判断はマイナスへ 価格競争激化が背景か

集計・分析：東京都市大学環境学部 准教授 木村眞実

【調査要領】

- ① 調査時：2021年9月16日~9月30日
 - ② 対象企業：日本自動車リサイクル機構会員企業
 - ③ 調査の方法：FAX・Webの送受信による自計記入を求めた
 - ④ 回答企業数：465社のうち144社(30.9%)から回答を得た(うち、有効回答数142)
 - ⑤ 平均従業員数：役員を含む正規従業員数 28.8人(前回28.3人)
派遣社員・臨時・パート・アルバイトの数 12.5人(前回7.0人)
- ※DI値(DI: Diffusion Index)「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたもの

経済・経営環境が変化するなかで、本調査結果が企業経営の羅針盤となればと考える。今後も、ご回答への協力を頂ければ幸いです。なお、本文中の「△」はマイナスを意味する。

(1)概況(業況判断・売上高・経常利益)

①業況判断

2021年7~9月期の業況判断に関するDI値は、前期比(2021年4~6月比)で△15.5、前年同期比(2020年7~9月比)で11.3であった。2020年10~12月と比べた次期見通しでは、△15.5が予想される(表1参照)。

従業員数による企業規模別の業況判断に関するDI値(前年同期2020年7~9月比)は、1-10人がゼロ(好転と悪化が同じ値)(前回12)、11-20人が3(前回49)、21-30人が19(前回△6)、31-40人がゼロ(前回44)、41-50人が25(前回ゼロ)、51-100人が38(前回43)、101人以上が40(前回50)であった。

本報告書での規模別の従業員数とは、正規雇用と非正規雇用の総数に従い区分し、詳細は以下の通りである。1-10人が48社(34%)、11-20人が33社(23%)、21-30人が16社(11%)、31-40人が11社(8%)、41-50人が8社(6%)、51-100人が16社(11%)、101人以上が10社(7%)であった。

図1 前年同期(20年7-9月)比
業況判断:DI値11.3

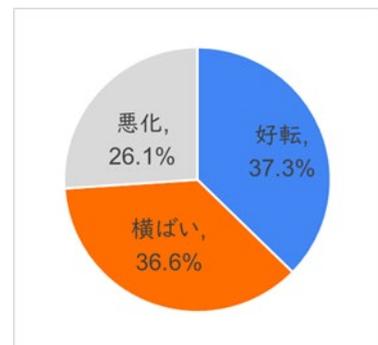


表1 業況判断、売上高、経常利益、運転資金調達の動向

	前期比(2021年4~6月と比べて)				前年同期比(2020年7~9月と比べて)				次期見通し(2020年10~12月と比べて)			
	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値
業況判断	18.3%	47.9%	33.8%	-15.5 (9.3)	37.3%	36.6%	26.1%	11.3 (27.9)	20.4%	43.7%	35.9%	-15.5 (3.6)
売上高	26.1%	48.6%	25.4%	0.7 (27.1)	51.4%	31.7%	16.9%	34.5 (43.6)	26.1%	43.0%	31.0%	-4.9 (17.1)
経常利益	26.8%	45.8%	27.5%	-0.7 (30.0)	52.1%	34.5%	13.4%	38.7 (47.1)	26.8%	40.1%	33.1%	-6.3 (12.1)
資金繰り	容易になった	変わらない	厳しくなった	DI値	容易になった	変わらない	厳しくなった	DI値	容易になった	変わらない	厳しくなった	DI値
	16.9%	73.9%	9.2%	7.7 (19.3)	27.5%	64.8%	7.7%	19.7 (22.9)	20.4%	67.6%	12.0%	8.5 (12.1)

注：DI値欄のカッコ内の値は前回調査時のDI値である。

②売上高

2021年7～9月期の売上高に関するDI値は、前期比(2021年4～6月比)で0.7、前年同期比(2020年7～9月比)で34.5であった。2020年10～12月と比べた次期見通しでは、△4.9が予想される(前掲表1参照)。

従業員数による企業規模別の売上高に関するDI値(前年同期2020年7～9月比)は、1-10人が10(前回15)、11-20人が36(前回59)、21-30人が19(前回17)、31-40人が55(前回89)、41-50人が75(前回57)、51-100人が75(前回71)、101人以上が50(前回60)であった。

③経常利益

2021年7～9月期の経常利益に関するDI値は、前期比(2021年4～6月比)で△0.7、前年同期比(2020年7～9月比)で38.7であった。2020年10～12月と比べた次期見通しでは、△6.3が予想される(前掲表1参照)。

従業員数による企業規模別の経常利益に関するDI値(前年同期2020年7～9月比)は、1-10人が15(前回17)、11-20人が39(前回61)、21-30人が31(前回28)、31-40人が55(前回100)、41-50人が88(前回43)、51-100人が75(前回79)、101人以上が50(前回60)であった。

(2)金融(資金繰り・金融機関の姿勢変化の有無と内容)

①資金繰り

2021年7～9月期の資金繰りに関するDI値は、前期比(2021年4～6月比)で7.7、前年同期比(2020年7～9月比)で19.7であった。2020年10～12月と比べた次期見通しでは、8.5が予想される(前掲表1参照)。

従業員数による企業規模別の資金繰りに関するDI値(前年同期2020年7～9月比)は、1-10人が8(前回10)、11-20人が18(前回29)、21-30人が44(前回44)、31-40人が9(前回33)、41-50人が38(前回14)、51-100人が31(前回14)、101人以上が20(前回20)であった。

図2 前年同期(20年7-9月)比
売上高:DI値34.5



図3 前年同期(20年7-9月)比
経常利益:DI値38.7

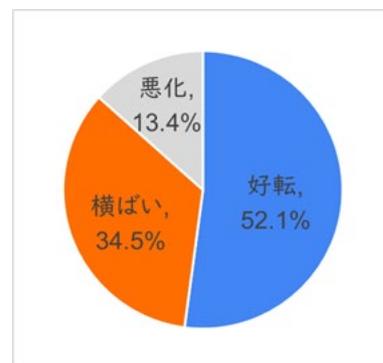
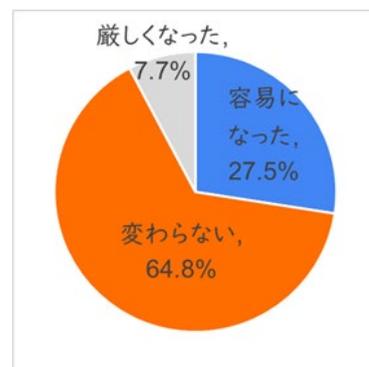


図4 前年同期(20年7-9月)比
資金繰り:DI値19.7



②金融機関の姿勢変化の有無

2021年7～9月期の金融機関の姿勢変化の有無について、「ある」が5社・4%（前回7社・5%）であり、「変わらない」が117社・82%（前回112社・80%）であった（図5参照）。

さらに、姿勢変化の具体的な内容を複数回答可で質問したところ、貸付攻勢が4社（前回調査5社）、私募債の勧誘が1社（前回1社）、その他（支店長の対応がガラリと良くなった）が1社（前回ゼロ）であった（表2参照）。

図5 金融機関の姿勢変化

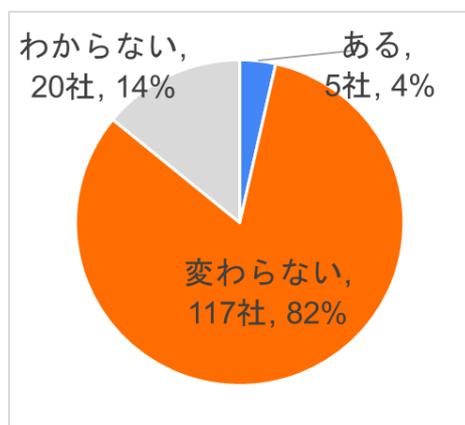


表2 金融機関の姿勢変化の内容（複数回答可）

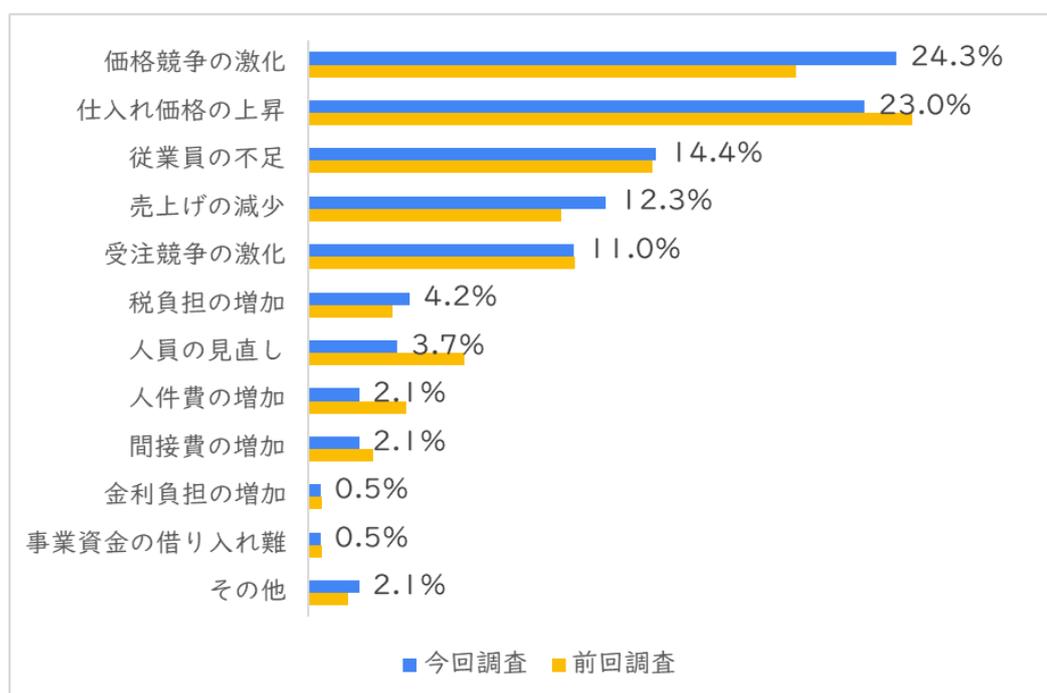
貸付攻勢	4社
私募債の勧誘	1社
支店長の対応がガラリと良くなった。	1社

(3)経営課題と取り組み等

①経営課題

2021年7～9月期において、経営上の課題として深刻なものは、価格競争の激化（93社・24%）、仕入れ価格の上昇（88社・23%）、従業員の不足（55社・14%）が上位であった（図6参照）。

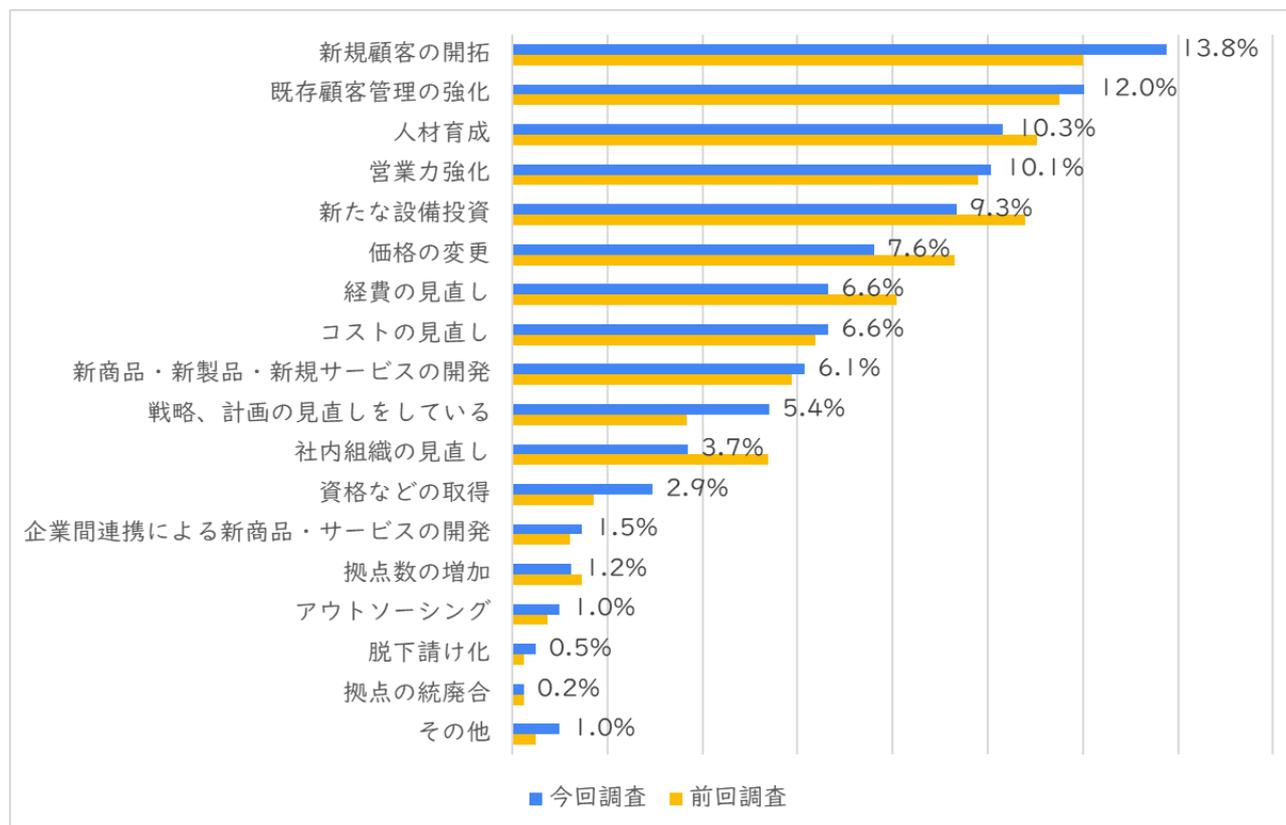
図6 経営上の課題（上位3つまでの複数回答）



②現在の取り組み

2021年7～9月期において「現在取り組んでいること」は、上位から、新規顧客の開拓（56社・14%）、既存顧客管理の強化（49社・12%）、人材育成（42社・10%）であった（図7参照）。

図7 現在取り組んでいること（上位3つまでの複数回答）



③経営指針の成文化について

2021年7～9月期における、経営理念、経営方針、および経営計画の成文化の状況についてである。なお、経営指針とは、経営理念、経営方針、経営計画の3つの総称である。

経営理念は、「している」が74社・52%（前回71社・51%）、「していない」が54社・38%（前回57社・41%）、「これからつくりたい」が14社・10%（前回12社・8%）であった（図8参照）。

次に、経営方針は、「している」が66社・47%（前回67社・48%）、「していない」が60社・42%（前回56社・40%）、「これからつくりたい」が16社・11%（前回17社・12%）であった（図9参照）。

そして、経営計画は、「している」が60社・42%（前回62社・44%）、「していない」が63社・44%（前回59社・42%）、「これからつくりたい」が19社・14%（前回19社・14%）であった（図10参照）。

図 8 経営理念について

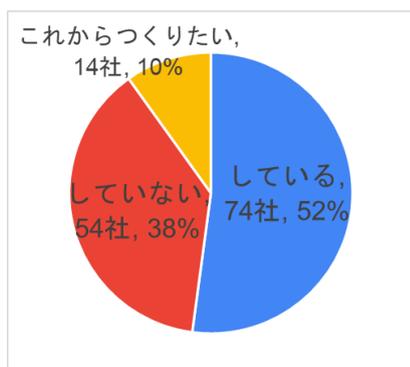


図 9 経営方針について

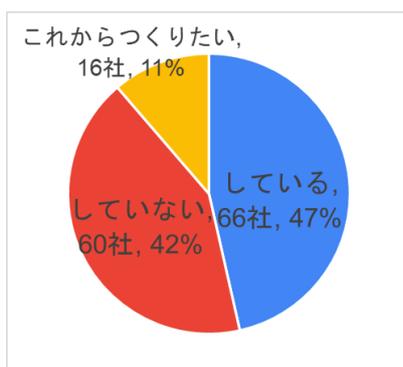
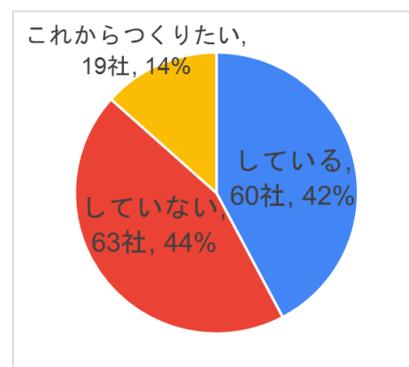


図 10 経営計画について



経営指針の成文化について、従業員数による企業規模別で見てみる（表 3 参照）。

まず、経営理念成文化について、「している」を、策定企業数の多い順で見ると、従業員数 101 人以上が 100%、51-100 人が 81%、41-50 が 75%であった。

次に、経営方針成文化について、「している」を、策定企業数の多い順で見ると、従業員数 101 人以上が 100%、41-50 人と 51-100 人が 88%であった。

そして、経営計画成文化について、「している」を、策定企業数の多い順で見ると、従業員数 101 人以上が 100%、41-50 人が 88%、51-100 が 69%であった。

表 3 経営指針の成文化

	経営理念成文化			経営方針成文化			経営計画成文化		
	している	していない	これからつくりたい	している	していない	これからつくりたい	している	していない	これからつくりたい
全範囲	52.1%	38.0%	9.9%	46.5%	42.3%	11.3%	42.3%	44.4%	13.4%
1-10人	25.0%	62.5%	12.5%	18.8%	64.6%	16.7%	18.8%	66.7%	14.6%
11-20人	51.5%	36.4%	12.1%	39.4%	48.5%	12.1%	33.3%	48.5%	18.2%
21-30人	62.5%	25.0%	12.5%	50.0%	37.5%	12.5%	50.0%	31.3%	18.8%
31-40人	54.5%	36.4%	9.1%	45.5%	45.5%	9.1%	36.4%	45.5%	18.2%
41-50人	75.0%	25.0%	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%
51-100人	81.3%	12.5%	6.3%	87.5%	6.3%	6.3%	68.8%	25.0%	6.3%
101人-	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

④お困りごと等の自由記述

自由記述として、以下の回答があった。

- ・ RC コーナー車オークションの落札金額が異常で困っています。
- ・ 部品が売れない
- ・ 特になし
- ・ 環境経済の変化で、プラスもあり、マイナスもある時代変化。
- ・ 半導体不足による新車の納車遅れにより中古車及び解体車の大幅減少で競争激化
- ・ リサイクル機構の対応が悪い 担当の意見が違いすぎる

本報告書は訂正版です。訂正箇所の詳細は「一般社団法人 日本自動車リサイクル機構 景況調査報告 正誤報告(220418 版)」を JAERA の HP からご参照ください。

- ・ 自動車リサイクル料金の預託状況の車台番号が下 4 桁のみの表示なので、全て表示して欲しいです。
- ・ 特にありません。
- ・ 自動車の流通の変化により、入庫が激減。

(以上)